

三菱オゾン下水高度処理設備 青島駅前の新名所、人工せせらぎ水路

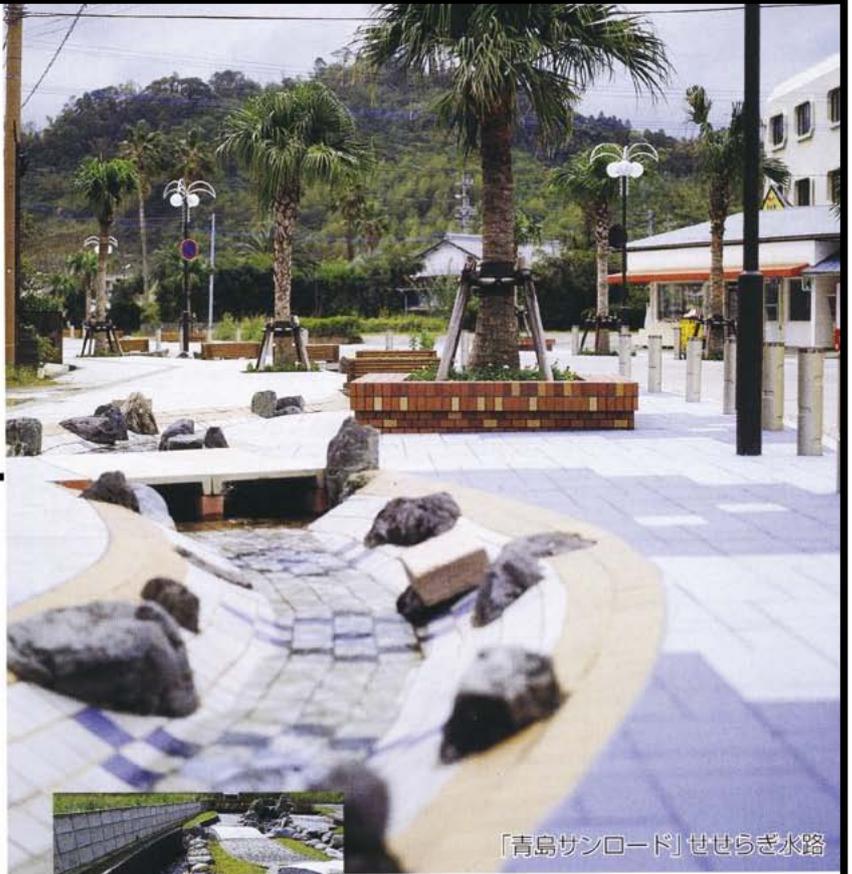
宮崎市殿 青島浄化センター (宮崎県)

処理水量：3,300m³/日
処理目的：親水用水（せせらぎ）
オゾン発生量：3kg/h×1台
供用開始：平成6年 4月

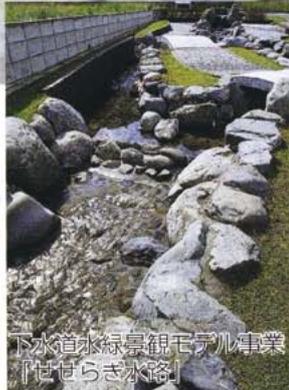
オゾンによる 下水高度処理について

青島浄化センターは、宮崎市南部に位置し、こどもの国や青島など、九州屈指の観光地にあります。

「宮崎・日南海岸リゾート構想」の重要な都市基盤となる公共下水道施設として、昭和63年に着工され、平成3年3月供用開始しました。宮崎市殿では、人と水環境の調和を進めており、下水処理水を再利用した親水設備（せせらぎ）を積極的に建設しています。その一環として、「下水道水緑景観モデル事業」を推進、JR青島駅周辺に人工のせせらぎを計画し、その親水用水として青島浄化センターの下水処理水を生物膜ろ過処理、オゾン処理して利用しています。せせらぎは、南国の風景とよくマッチし、市民のみならず、この地を訪れる一日最大6万人以上の観光客のみなさんにも好評です。特に子供たちは、その豊かな水の流れの中で、楽しそうに水しぶきをあげています。



「青島サンロード」せせらぎ水路



下水道水緑景観モデル事業
「せせらぎ水路」



高度処理棟

青島浄化センター全景



